

# CAREER 2022

# PATH

大学院生のためのキャリアパスガイド

博士課程ってどんなところだろう？

博士の就職ってどうなんだろう？

# GUIDE

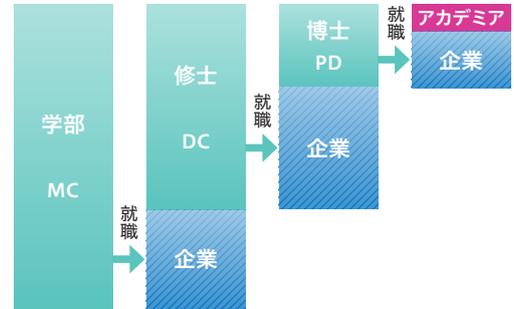


## 博士のキャリアパスのイメージ

〈 大学院生の皆さん、なぜ大学院に進学したのですか？  
これからのキャリアをどのように考えているのでしょうか？ 〉

多くの方は理工系なら大学院修士まで進学して、その後は企業などに就職と考えているのではないのでしょうか？ しかしグローバル化が急速に進む世の中では企業における研究活動を担えるのは、修士から博士に移行しつつあります。

PhDリクルート室では博士課程学生や博士に興味を持つ修士課程の方を対象に、アカデミアでも産業界でも必要で役に立つ能力であるジェネリックスキルを獲得するプログラムを提供するとともに、産業界でのキャリアを形成するためのキャリア相談窓口の開設、マッチングやインターンシッププログラムを実施し、支援していきます。



M1・M2の方

将来の見極め

これからアカデミアでも産業界でも研究開発分野でキャリアを積もうとする方は、グローバル化する特に産業界の動向、博士という学位の重要性をしっかりと情報収集して認識を高めましょう！博士はアカデミアでは当たり前ですが、産業界でも研究開発部門ではグローバルには重要なタイトルになります。

D1・D2の方

積極的な活動

D1は時間的にまだ少し余裕がありますので、この間にジェネリックスキルを高め、企業との接点構築をしましょう。D1から接点を深めるとよりよいマッチングが期待できます。D2は通常の定期採用であればまさに就職活動年にあたります。積極的に産業界との接点を構築し相互理解を深めましょう。

D3・PDの方

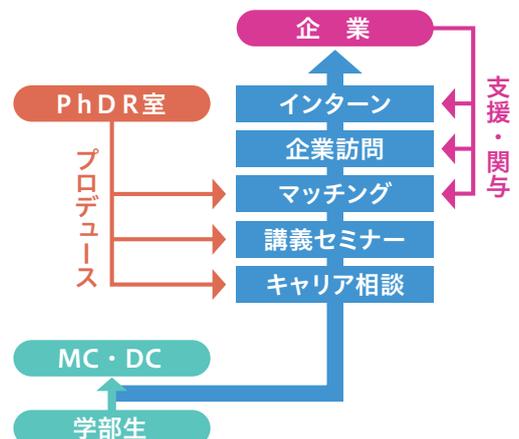
可能性の追求

定期採用の波には乗り遅れています。しかしチャンスはまだ多くあります。焦らずに企業との接点を深めましょう。

## PhDリクルート室、事業の概観

上記の考え方のもと、当室では修士を含む大学院生に対して、その意識を変革するための講義、また専門知識や研究スキルをどのような場面でも発揮できるようなジェネリックスキルを獲得するためのセミナーを提供するとともに、産業界との連携のもとに実際に企業と接点を構築するための実践参加型マッチングイベントやインターンシップなどの機会を提供します。

模式的に記載すると右のような仕組みです。学部生や修士のうちから当室が提供する意識改革型プログラムによってジェネリックスキルを獲得しつつ、博士に進学後は企業も関与したマッチングイベントやインターンシップなどで接点を広げるとともに深めていき、お互いに情報交流を密にしていくというものです。これらについてもう少し詳細にご説明します。



博士後期課程学生（DC）や博士研究員（PD）の皆さん、もちろん博士前期課程学生（MC）の方々も大学院や研究室で専門知識を身につけ、研究スキルを磨いていると思いますが、実はその深掘りの専門性だけでは世の役に立つことは難しいのです。大学院での研究は基本的に一人で実施することが多いのに対して、企業での実験研究はほとんどがチームで進めます。

そのためチーム内のコミュニケーションやリーダーシップなど、仕事を成果につなげていくためには、研究以外の知識やスキルが必要になってきます。また、企業の研究成果は学術誌への論文発表よりも知的財産権（特許権など）の獲得が最優先されます。このように企業とアカデミアでは手段・手法・優先順位が異なるため、研究以外の知識やスキルも皆さん自身で身につけていく必要があります。当室ではこのような知識の獲得もお手伝いします。

2022年度は以下15コマを実施します。

※対象:MC、DC、PD(BCは希望者のみ聴講可能 ※単位取得不可)

※講演の順序は変更になる場合があります。

※詳細はシラバスをご覧ください。



No.	日	内容	講師
1	4月8日	企業の種類と分析	新潟大学 PhDリクルート室 樋口 直樹
2	4月15日	イノベーション	三菱ケミカル 宗像 基浩
3	4月22日	アントレプレナーシップ	シーズレイザー 山下 良一
4	5月6日	新ビジネス創出事例	富山大学 東田 千尋
5	5月13日	コミュニケーション	ライフエスティーム研究所 福所 しのぶ
6	5月20日	リーダーシップ	大日本住友製薬 板倉 朋宏
7	6月3日	プレゼンテーション	物質・材料研究機構 (NIMS) 小林 隆司
8	6月10日	知的財産マネジメント	サントリーホールディングス 藤村 朋子
9	6月17日	企業の事業戦略	日本電気 (NEC) 貞廣 滋
10	6月24日	技術と事業① (建設分野)	東急建設 井上 諭
11	7月1日	技術と事業② (素材分野)	昭和電工 瀬戸 康善
12	7月8日	技術と事業③ (化粧品分野)	ポーラ化成工業 未延 則子
13	7月15日	技術と事業④ (精密機器分野)	オリンパス 高宮 裕児
14	7月22日	技術と事業⑤ (医療分野)	NOMON (帝人) 山名 慶
15	7月29日	技術と事業⑥ (素材分野)	トクヤマ 佐藤 美樹代

※本講義は、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の支援を受けています。  
主催：新潟大学PhDリクルート室 共催：新潟大学理学部大学院支援局、新潟大学フェローシップ事務局、新潟大学大学院自然科学研究科  
共催：新潟大学博士課程人財育成システム

interview



新潟大学大学院医歯学総合研究科  
博士課程 2年(DC2)

中嶋 優太

医歯学系の大学院に在籍する私にとって本セミナーは、単に博士課程を過ごすだけでは経験できない内容が学べるセミナーでした。医歯学系博士課程では、就職活動などを通じた企業との関りはあまりないのが現状です。そのような中で、専門分野のみに特化して研究するだけでは気づきにくい内容を学べる興味深い講義でした。

講義は、まず企業の製品開発など背景にあるお話から各講義の本題である各“スキル”についてお話していただきました。内容は分野に関わらず必要なスキルから、変化を続ける時代における各企業の対応の“スキル”まで説明していただきました。個人的に印象に残ったことは、科学には2つの価値があり、一つが事実を伝えること、もう一つがワクワクさせることつまり周りに伝え広めていくことと言う内容です。私も、博士課程において専門知識を獲得するだけでなく自身が所属している分野の研究や臨床を広く普及させるような“スキル”を引き続き獲得していきたいと感じました。

interview

修士

- 専門分野の授業ばかりを受講している中、このような自分のキャリアについて考える機会を頂戴できたのは非常に貴重な機会となりました。
- それぞれのプロフェッショナルのお話を聞くことができ、大変勉強になった。今回講義を行っていただいた講師の方々には時代の流れに敏感で、合わせて仕事をするということがいかに重要かということが理解できた。実際に会って、講義後座談会のようなものができれば、より有意義な機会となると思った。

博士

- 毎回様々な業界の、異なる経歴や職種に携わっていらっしゃる講師の方々のお話を聞くことができるのは大変貴重な時間でした。自分の就きたい職業を考えたとき、どうしても専門に関わっている業種や興味の対象のジャンルばかりを調べてしまっていたので、毎週ジャンルも偏っていない業界からの講師の方々の仕事に対する考えやモチベーションを聞くことができ、キャリア形成を考える際に大変参考になった。
- SNSの普及で様々な情報が広く流通するようにはなりましたが、この半年のセミナーで聞いた話はSNSでもなかなか流れてこないような価値ある話だったと思います。SNSでたびたびバズる仕事に関する極論などは違って、地に足のついた実経験に基づく話が聞いて良かったです。来年も面白そうなものがあれば聞いてみたいと思います。
- 大学院での研究生活では研究を進めていくことのみを考慮しがちであり、研究の成果を社会に役に立つ形にすることや産業として価値があるかどうかを考慮する視点はあまりなかった。しかし、この講義を通して、今まで軽視していたそのような見方が社会貢献にとって重要であると気づいた。また、研究から産業界への接続をこの講義で学ぶことができたこともよい経験になったと思う。

キャリアマネジメントセミナーを補完する目的で設計しています。講義だけでなく、演習等で実際のスキルを身に付ける必要があるようなコンテンツです。就職活動などが本格化する前に、素養を高めておきましょう。通年、不定期で開催予定です。

### 1. ビジネスマナー (2021年度は2回開催)

企業との直接的な接点を持つ場合（訪問や面談など）には直接／間接（WEBなど）に関係なく、基本的な社会人としてのマナーが要求されます。社会人としての常識を身に付けておきましょう。

講師 ANAビジネスソリューションズ 高原 温子

### 2. 交渉学

社会人になれば仕事上でもプライベートでも交渉によって物事を解決する場面に多く遭遇します。喧嘩するのではなく双方が納得する交渉をするためには、事前の調査、獲得目標の幅、交渉決裂時の対応など多くの準備や心構えが必要です。しなやかな対話力を身につけましょう。

講師 東京富士大学教授 隅田 浩司

### 3. プロジェクトファシリテーション

社会に出ると仕事は一人ではなくチームですることがほとんどになります。その場合リーダーシップ等の能力が必要となりますが、プロジェクトを推進するためにはファシリテータの役割が重要になってきます。

講師 古河電気工業株式会社戦略本部主席BPR 関 尚弘



## interview



新潟大学大学院自然科学研究科  
博士後期課程1年(DC1)

當銘 香也乃

「今の自分に無いものを身に付けたい」との思いで受講し、どのセミナーも私自身の糧となりました。研究生活でも企業での職務でも、共通して重要なのは人との関わりです。日頃から意識はしていても、では“どうすれば”円滑な人間関係を築けるのか？ 私はその“How”への解を交渉学やプロジェクトファシリテーションを受講することで獲得できたように思います。交渉、と聞くと「刑事ドラマ!？」なんて思ったりもしますが、その本質は「対話により自分と相手の実力を引き出す」ことでした。会議の進行として用いられるファシリテーションも、実はなんて事のない会話でも「傾聴」が活き、よい関係づくりに繋がります。受講後、自身が何をどう伝えたいのか、それを整理できるようになったのも大きな変化でした。

人物像も研究の成果も、黙っていても評価されません。これらセミナーの受講は必ずしも就活・就職にのみ役立つのではなく、自分の持つ可能性を自分が思うより広げられる力になります。出てきたキーワードが気になった皆さん、受講するべきは今ですよ！

## interview



新潟大学大学院現代社会文化研究科  
博士後期課程3年(DC3)

吹上 新悟

大学院に進学して日々を過ごしていると、関わる人がどんどん限られてく実感があります。大学関係者で構築された中に身を置くことは、慣れてくれば研究のしやすい充実した環境であるが、社会性や基本的マナーは、卒業後就職した同年代と比べて圧倒的に経験不足で、果たして社会に出たときに恥ずかしくない振る舞いが出来るのだろうかという不安がありました。

高原油先生のビジネスマナーセミナーに参加して、一番の収穫は自分の弱点を指摘していただいたことです。学内に身を置いていると、なかなか正面から注意される経験がありません。社会人として新たな人間関係を構築していく前に、他者の目から見た自分を正直に言われ、知る経験は貴重なものでした。

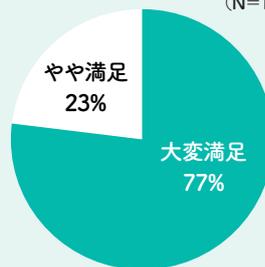
一挙手一動作、声などが相手に与える印象とその良し悪しがあることを知り、たとえ自分の癖でも意識してコントロールする重要性を学ぶことが出来、日々精進していこうと思うきっかけになりました。

本セミナーは実際に博士課程に進学し、かつ学位取得後、産業界に自身のキャリアを構築した先輩たち、社会人博士を招き、キャリア構築の事例を聴くとともにそれに至る葛藤や決断など、皆さんが最も気になる部分の情報交換を行います。学位取得の過程と産業界への進路を決めたきっかけ、準備したこと、そのためのプロセスなど、あまり一般的になっていない情報を収集する良い機会です。また、アカデミアと産業界の違いなど、実務的な現在の環境に関するお話も聞くことができます。

▶ 2021年度アンケート結果

- 産業界での研究職とアカデミアでの研究職では求められていることが違うということが印象的でした。
- 様々な分野の出身で、様々な業界の方からお話を聞くことができ、就職を視野に入れる場合に考えるべきことやとるべき行動をイメージすることができた。
- 博士は企業に求められている人材だ、ということがわかって嬉しかったし、今後も頑張ろうと思いました。
- 博士を経て産業界に入った方に会える機会がなかったので、貴重な話を聞くことができた。

本セミナーの満足度をお聞かせください  
(N=13)



interview



新潟大学大学院自然科学研究科  
博士後期課程1年(DC1)

田中 和樹

博士号を取得し、産業界に進出された方のお話を聞く機会はなかなか無いので、私にとって大変貴重な経験となりました。本セミナーに参加したきっかけは、博士学生の就活や就職後、企業での業務内容について具体的に知りたと思ったからです。実際に参加してみて、就活で苦労した点や働いてみて感じたギャップなど、様々な分野のお話を聞けたので非常に勉強になりました。加えて、私の中で特に印象深かったのは、先輩方の学生時代に経験した心境や環境の変化についてです。進路に対する葛藤や就職を選択する決め手となった出来事を知ることができ、共感するとともに、私自身今後の進路を見つめ直す機会となりました。

私は現在博士後期課程に在学しておりますが、本セミナーは修士学生・学部生の方にも博士進学を考える上で良いきっかけになるのではないかと思います。自身のキャリアを形成していく中で博士過程がどんな意味を持つのか、先輩方の経験から学べる貴重な機会だと思うので、少しでも博士課程に興味がある方は参加してみたいかがでしょうか。

message



新潟大学大学院自然科学研究科2020年度修了  
博士(理学)  
株式会社 ARISE analytics

奥井 恒

私は、新潟大学で学士・修士・博士を取得した後、現在はARISE analyticsという会社で働いています。研究が楽しく博士まで進み、悩んだ末に、今の会社で働くことを選択しました。様々な立場の方とのコミュニケーションで得た経験や意見を通し、進路を決断しました。最終的には、研究者として生きる道に魅力を感じつつも、新しい分野でより自分が成長できる環境で挑戦したいと思い、今の会社に就職することを決めました。

自分の学生生活を振り返ると、挑戦してきたからこそ得られた経験が多かったように思います。研究生活で培った探求力、仮説検証、議論、プレゼンテーションなどといった能力・スキルは、就職活動でも評価されましたし、実際に働いている中でも生きる場面は多いと感じています。就職・進学など悩むことは多いと思いますが、一方で大学・大学院でしか経験できないこともまた多いです。悩みながらも積極的に行動し、学生生活を送ってほしいと思います。

message



新潟大学大学院自然科学研究科2020年度修了  
博士(工学)  
日本電信電話株式会社

谷口 諒太郎

私が皆さんに本当に考えていただきたいことは、将来皆さんが何を成し遂げたいのか、何になりたいのか、つまりは自身の未来像は何か、ということです。博士に進学するかどうかや、アカデミアと産業界のどちらに進むかどうかを考えることも重要ではありますが、それは皆さんにとって真に重要な事柄ではありません。自身の未来像が明確ならば、その想い描く未来を目指すための進路は自ずと見えてくるはずですが、一方で、自身の未来像が不明確なまま進路を決定してしまうと、後に進路を変更する際に多くの時間とコストを要します。基礎研究をしたいのか、製品開発をしたいのか、エンジニアになりたいのか。地元の工房で技術を守りたいのか、日本で安定した職に就きたいのか、世界で活躍したいのか。自分の目指す未来像を明確化し、そこに到達するために必要な進路を選ぶことが、皆さんの夢を達成するための近道です。

博士課程(DC)学生や博士研究員(PD)は、修士課程(MC)学生とは異なり、就職活動に関しては倫理憲章などの制約は無くなります。つまり通年で就職活動ができるようになります。その分、新卒一括採用の波に乗るのとは異なる時期に異なる方法で情報収集が必要となります。活動のタイミングもばらばらになってきます。

また、多くの同期生が既にMC修了で就職してしまい、同じく産業界に就職を考えている博士の仲間も周囲からは少なくなっています。

このような環境下で就職活動を進めるため、当室では博士専用のキャリア開発個別相談窓口を開設しました。

ここでは、



**1** 博士人材が抱える個別の状況や事情の相談を受けます

**2** 獲得した知識やスキルを活かす進路を一緒に考えます

**3** 博士人材を要望している企業との接点を作り上げます

皆さんのキャリアを構築するお手伝いをします。

修士課程(MC)学生でDCへ進学を希望、またDCの実際を知りたいという方のご相談にも応じます！

interview



新潟大学大学院自然科学研究科  
博士後期課程2年(DC2)

中野 泰河

私は、博士課程に進学したときから「自分の研究と社会を繋げられる研究者」になりたいと考えており、PhDリクルート室が主催するリクルートフォーラムへの参加による企業との交流を通じて「博士への期待」や「実際に働くということ」について情報を収集してきました。

しかしながら、採用に向けた就職活動に参加する時期が近づくと、研究活動と就職活動のバランスを取ることに不安を感じ、本格的に就職活動に参加することへの躊躇いがありました。そこで、PhDリクルート室には現在の私の状況と今後の就職活動やキャリアについて相談をいたしました。実際の相談では、終始和やかな雰囲気、過去の事例や就職活動の上で企業から得るべき情報などについて知ることができ、就職活動に参加する自信につながりました。

それぞれの博士学生が抱える状況は違うと思いますが、キャリアや就職活動に不安がある場合はPhDリクルート室に相談することで、ご自身の状況に応じた的確なアドバイスを頂けると思います。

interview



新潟大学大学院歯医学総合研究科  
特任助教

西口 知輝

学位取得後二年目になり、国内大学以外にも企業研究者としてのキャリアに興味が出てきたので、オンラインと対面でそれぞれ一回ずつリクルートフォーラムに参加しました。企業からは技術系の方はもちろんのこと、人事の方も研究の成果や応用性に興味を持ってくださる方が多く、学会とはまた違う新鮮な熱を感じました。他の参加学生を見ても、出身や専門が全く違う人が集まっており、改めて自分の専門性を客観視する機会となりました。多様なバックグラウンドを持つ方々と接することができ、非常に良い刺激を受けたことは大きな収穫です。

フォーラム参加に際しては、PhDリクルート室の事前サポートに大いに支えられました。自己PR資料は事前に相互チェックする機会があり、専門的すぎる部分や分かりやすく伝えるべき内容を確認できます。ビジネスマナーとして名刺交換の手順や適切な振る舞いを学ぶ機会もあり、自信を持って企業の方とのコミュニケーションに集中できました。

企業を知るためにはいろいろな方法がありますが、博士人材にとっても企業人にとっても効果的なのは、直接会って交流することです。ここで実施するマッチングイベントは、誰でも参加できるわけではなく、効率よく交流するために事前にしっかり準備をした、選りすぐりの博士人材が参加できます。企業としても専門知識や研究スキルはもとより、意欲がある社会人としての人格を伴う博士人材を要望しています。本年度は、第5回を2022年9月20日(火)、第6回を2022年12月2日(金)に開催を予定しております。

- 1 企業が求める博士人材や参画してほしい研究領域など聞くことができる
- 2 博士人材自身の研究テーマや研究スキル、人物像そのものをアピールすることができる
- 3 ブースでの双方向情報交流を実施することでお互いの理解を深めることができる

この場で社風や活躍できる分野の確認、研究所見学や中長期インターンシップの実施に向けた具体的な話も進めることができます。

### ▶ 2021年度の実績

**第3回  
PhD リクルート フォーラム**  
オンラインで実施

参加企業: 17社

旭化成、アステラス製薬、大塚製薬、亀田製菓、京セラ、グローバルウェルネス・ジャパン、コーセー、資生堂、島津製作所、住友化学、ダイセル、大日本住友製薬、データフォーンズ、テクノステータサイエンス・エン지니어リング、東芝、ナミックス、リパネス

参加博士人材: 31名(うち、本学博士21名)

**第4回  
PhD リクルート フォーラム**  
対面で本格実施

参加企業: 14社

アルビオン、クラシエ製薬、グローバルウェルネス・ジャパン、神戸製鋼所、サントリーグローバルイノベーションセンター、東急建設、同仁医薬化工、新潟日報社、日本入試センター、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー、三菱ガス化学、三菱電機、リコー、ロート製薬

参加博士人材: 24名(うち、本学博士16名)



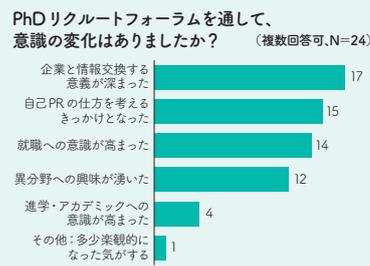
### ▶ 2021年度アンケート結果

**博士**

- 異分野の研究を行っている方々との交流を通して、自分のスキルの新しい応用方法を考えるヒントが得られた。
- 自分が思っている以上に博士の持つ汎用技能が注目されていると感じた。
- 多数の企業から人事だけでなく研究者も参加していただき、直接コミュニケーションが取れたことは非常に貴重な経験となりました。企業の皆様の研究に対する信念や情熱を感じられて、私の意欲も焚きつけられるものを感じました。

**企業**

- 優秀な学生さんに出会える貴重な機会と感じています。ありがとうございました。
- アットホームな会で、学生さんたちも横の連携がとれているようで、とてもコミュニケーションがとりやすい会でした。
- 高い専門知識の人材と出会うのが難しくなっている中で、このようなイベントに参加させていただきありがとうございました。博士の方と情報交換ができ大変充実した時間となりました。たくさんの方と交流ができよかったのですが、ぜひ一人ひとりとじっくりお話をさせていただくために、開催日を2日に分けて行ってもよかったのではないかと感じました。ぜひ次回イベントにも、呼びいただけましたら幸いです。



### interview



新潟大学大学院自然科学研究科  
博士後期課程1年(DC1)

五十嵐 律矩

アカデミアの道以外で博士号取得者はどんな活躍ができるのか、参考になるだろうと本イベントに参加しました。参加に際しては自己紹介動画やポスター等の準備が必要でしたが、果たして貴重な経験が得られました。

仕事内容やワークライフスタイルを直接聞くことができたため、就職後のイメージが湧きやすくて大変参考になりました。実際にお話を伺って、博士学生に期待されているのは課題探索能力及び解決能力であることもわかりました。つまり、研究で得た専門性自身よりも、そのものを極めるスキルのことです。

うろ覚えですが、こんな金言をいただきました。日く、深い井戸を掘れる人は他にも井戸を掘れると。すなわち、専門性を極めるスキルは普遍的に発揮されるということです。己の進む道の一つに絞らず、様々な可能性を検討するのも悪くはない、と思わせてくれる、そんなイベントでした。

### interview



新潟大学大学院自然科学研究科  
博士後期課程1年(DC1)

住吉谷 瞭歩

参加するまでは、博士後期課程修了後に企業で働く具体的なイメージを持てず、将来への漠然とした不安を抱えていました。そこで、企業の人事や研究職、技術職の方々の生の声を聞いて、自分の将来像に輪郭を持たせたいと思い、フォーラムに参加しました。

企業の方と直接お話しする中で、私の中で企業への就職に必要なこととの間にずれがあることに気がつきました。フォーラムでは、私を持っている専門性だけでなく、研究で身につけた技術や日々の生活で形成された人間性も評価していただきました。また、適正があると思っていなかった業界の方からも声をかけていただき、産業界での活躍の可能性の広さを感じることができました。

フォーラムへの参加は、自分の研究や人間性を見つめ直し、将来のビジョンを具体的に考えるきっかけになりました。進路希望がはっきりしている方もそうでない方も、一度参加してみたいかがでしょうか。

# 06 CAREER PATH GUIDE 企業訪問

マッチングイベントで思わぬ企業から勧誘や研究所見学などを申し出られた場合、この機会を逃す手はありません。その企業をこちらから訪問し、可能な範囲での見学とともに、自身の研究内容などのプレゼンも可能な場合があります。直接企業を訪問すると多くの研究者と話すことが可能です。それによりさらにマッチングが深まりインターンシップから採用につながるケースも多々あります。

- 1 企業を直接訪問して業務の現場を見ることができ、働くイメージを獲得することができる
- 2 企業人への直接の研究プレゼンで自身の知識や研究能力を確認することができる
- 3 さらには双方向情報交流を実施することでお互いの理解を深めることができる

研究所見学や中長期インターンシップの実施に向けた具体的な話も進めることができます。2021年度は新型コロナウイルス感染症禍のため、実施できませんでしたが、本年度は秋に1回開催をする予定です。

# 07 CAREER PATH GUIDE ジョブ型研究 インターンシップ

産業界のグローバル化に伴い、研究職などの採用がメンバーシップ型からジョブ型へ徐々に移行しつつあることはご存じかも知れません。なぜならば、ジョブ型へ移行しないと高度技術を持った人材に対する処遇を特別に設定することが難しく、グローバルに人材を獲得する競争に勝てなくなるからなのです。

そのような動きに対する準備として、ジョブ型研究インターンシップは企業活動を体験することで企業研究の実際を知り、その企業との相性などを確認するためにも非常に有効な方法です。企業視線からも、優秀な博士人材に実際の研究テーマを一定期間担当してもらうことで、その人物像から研究スキルや知識レベルも評価することができます。

**ジョブ型の特徴：期間が中長期（2ヶ月程度）／有給／研究テーマ開発に従事**

- 1 企業実務を体験でき、働くイメージを実感できる、企業との相性もわかる
- 2 企業もより深く博士人材の人物を知れ、研究スキルや知識レベルがわかる

企業の中に入り込んで体験できることは、企業の考え方としての「納期」や「コスト」、研究の「出口」の意識を体験し、自分のものとすることができます。

# 08 CAREER PATH GUIDE コンソーシアム 連携活動

博士人材育成はどの大学でも喫緊の課題として認識されています。これまでは各大学が個々の努力で解決を試みてきましたが、いくつかの大学がプログラムを共有し相互に支援しながら育成を試みる「科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業」が2015年に開始されました。当初は北海道大学・名古屋大学・東北大学の三大学から始まった取り組みですが、現在ではこれに加えて、大阪大学・お茶の水女子大学・横浜国立大学・兵庫県立大学・立命館大学・沖縄科学技術大学院大学（OIST）・筑波大学・神戸大学、そして新潟大学も加わり、12大学で構成する大きな集団になっています。参加大学は育成プログラムを共有しており、各大学に所属する大学院生はこれを相互利用することができます。

## イノベーション創出人材連携育成プログラム



## interview



新潟大学大学院自然科学研究科 博士後期課程1年(DC1)

中島 康太郎

私は博士課程に進学した時点では将来どのような仕事がしたいのか明確に把握できておらず、そのため博士課程で磨く専門性を自分の人生においてどのように位置付ければよいのかもわかっていませんでした。そこでこの連携事業に参加し、少しでも多くの企業と話す機会を得てまず自分のやりたい仕事を見定めることにしました。この事業を通じて本当に様々な企業と話す機会を得たおかげで、仕事の輪郭が明確になり、自分が何をしたいのか少しずつですがわかってきたように思います。また、企業の方との対話を通じて、博士課程での過ごし方を見直すことができました。専門性を極めることそれ自体に大きな価値があるという確信が持てたおかげで博士の位置づけも明確になり、迷うことがなくなりました。私のように迷っている人は是非とも参加してほしいと思いますし、そうでない人も他大学の方々の質問技術等は参考になるといいますのでやはり参加をおすすめします。

### 新潟大学フェロシップ支援事業

本学は、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」の実施機関として採択されました。これを受けて、本学ではPhDリクルート室を主軸として、令和3年度より本学フェロシップ制度を開設し、博士後期課程1年次生（医歯学分野では博士課程2年次生）に対し（毎年度14人を採用）、修了までの3年間研究専念支援金（生活費相当額）と研究費からなるフェロシップを支給するとともに、博士人材としてアカデミア・産業界双方を見据えた多様なキャリアパスが選択できるような育成プログラムを提供していきます。



### 未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト(次世代プロジェクト:SPRING)

本学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が公募した「次世代研究者挑戦的研究プログラム～博士後期課程学生の挑戦を支援する～」に採択されました。

本プロジェクトは、新たに大学の研究科や研究室など既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程学生の選抜等を行う事業統括を選定し、そのリーダーシップのもと、当該博士後期課程学生に対する様々な支援を実施・展開する大学の取り組みを国として支援するものです。

これを受けて、本学では学長特命補佐（協力教員：本田明治）を事業統括とした、博士後期課程の全研究科（医学、歯学系の4年制の博士課程を含む）を対象に、優秀な学生を選抜し、経済的支援・研究費支援を行うとともに、様々なキャリアパス支援に向けた取り組みを行っていきます。これにより、多様な分野でイノベーションを創出する博士人材を育成することを目指します。

	新潟大学フェロシップ支援事業 (科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業)	未来のライフ・イノベーションを創出する フロントランナー育成プロジェクト (次世代研究者挑戦的研究プログラム)												
目的	学生の <b>革新性</b> や <b>国際性</b> を高め、産官学の幅広い分野で活躍できる博士人材を育成する	学生の <b>挑戦的</b> ・ <b>融合的</b> な研究を推進し、多様な分野でイノベーションを創出できる博士人材を育成する												
対象分野	<b>未来健康科学</b> 高度医療による健康未来福祉社会 <b>革新的情報・AI</b> データ駆動型超スマート社会	<b>全分野</b>												
研究支援	<b>当該分野の専門性の強化</b> 英語論文作成支援 / 実践的データ分析講習等	<b>異分野融合研究の推進</b> マルチラボシステム（学内短期留学制度）												
特筆すべき支援内容	<b>アカデミア、産業界へのキャリア形成プログラム</b> →産業界への理解を深め、ジェネリクススキル★を獲得	<b>メンター制による協働研究支援</b> →研究への理解を深め、アカデミックスキル★を獲得												
具体的な採用事例	<table border="1"> <tr> <td>現代社会文化研究科 (健康科学)</td> <td>自然科学研究科 (フィールド科学)</td> <td>医歯学総合研究科 (医学)</td> </tr> <tr> <td>運動学 健康経営 マネジメントカ</td> <td>気象学 統計スキル 企画・運営カ</td> <td>皮膚科学 分析力 リーダーシップ</td> </tr> </table>	現代社会文化研究科 (健康科学)	自然科学研究科 (フィールド科学)	医歯学総合研究科 (医学)	運動学 健康経営 マネジメントカ	気象学 統計スキル 企画・運営カ	皮膚科学 分析力 リーダーシップ	<table border="1"> <tr> <td>現代社会文化研究科 (法学)</td> <td>自然科学研究科 (フィールド科学)</td> <td>医歯学総合研究科 (医学)</td> </tr> <tr> <td>環境法 バリ協定 省エネルギー</td> <td>気象学 農業土木 砂防ダム</td> <td>生活習慣病 人工知能 ビッグデータ</td> </tr> </table>	現代社会文化研究科 (法学)	自然科学研究科 (フィールド科学)	医歯学総合研究科 (医学)	環境法 バリ協定 省エネルギー	気象学 農業土木 砂防ダム	生活習慣病 人工知能 ビッグデータ
現代社会文化研究科 (健康科学)	自然科学研究科 (フィールド科学)	医歯学総合研究科 (医学)												
運動学 健康経営 マネジメントカ	気象学 統計スキル 企画・運営カ	皮膚科学 分析力 リーダーシップ												
現代社会文化研究科 (法学)	自然科学研究科 (フィールド科学)	医歯学総合研究科 (医学)												
環境法 バリ協定 省エネルギー	気象学 農業土木 砂防ダム	生活習慣病 人工知能 ビッグデータ												
支援の体制や内容	<p><b>ポイント!</b> PhDリクルート室 企業視点の自己PRの方法・視点を獲得!</p> <p><b>特長</b> <b>独自のキャリア支援</b> 産業界を中心とする社会の様々な場で活躍するため、研究力向上と<b>キャリア支援のプログラム</b>への参加が必須</p> <p>▶キャリア支援プログラムへの参加時期 支援期間内に各自で設定</p>	<p><b>ポイント!</b> PhDリサーチサポート室 自身の専門分野から異分野への応用視点を獲得!</p> <p><b>特長</b> <b>マルチラボシステム</b> 分野横断、融合、挑戦的研究を促進するため<b>新規ラボでの研究を推奨*</b></p> <p>* 既に共同研究実施中のラボも可、適切なラボがない場合は学外も可</p> <p>▶学内留學先での研究従事期間 各学年で基本<b>3か月以上</b></p>												

### 新潟大学大学院院生会

大学院生が主体となって運営する「新潟大学院生会」。大学院生相互の理解と研究交流を深め、研究、生活等の向上を図ると共に、学問研究の発展の推進力となることを目的として活動しています。当室では、当会の皆様と連携し、大学院生の充実したキャンパスライフに向けた支援を行っています。



### 新潟大学大学院院生会主催イベント

# 1

#### 自分語りの会 (2021年度は5回開催)

人に伝える技術を高めることを目的としたイベントです。発表者は、自身の研究や生活について他人にわかりやすく紹介するスキルを身に付けると共に、自身の目指す姿を明確化し整理する機会になります。また、聴講者は発表者の考えや行動を受け、自身の研究活動等へ反映することができます。

# 2

#### なんでもト——ク 交流会！

大学院生間の交流を深めることを目的としたイベントです。普段、なかなか交流を持つことができない他の研究室の学部学生や大学院生との交流を図ります。参加者の興味・関心のあるテーマから意見交流を行うことで、大学院生活の質向上及び研究力向上を目指します。



# 3

#### 研究発表会

大学院生の研究力向上や異分野融合研究の推進を目的としたイベントです。お互いが何を研究しているのか、本学にはどのような研究をしている研究室があるのかを知ることができ、院生間の交流を深めることができます。また発表者と聴講者が相互に発表・研究手法を共有することで、本学院生の技能向上が図られます。



# 4

#### Python講習会

大学院生に対する教育研究の充実と資質の向上を目的としたイベントです。Python講習会では、特に、数理・データサイエンス（データ解析、機械学習、Python入門など）に関わる講演・実践を通じ、研究に役立つ基礎知識の習得や応用力を身に付けます。

# 博士のつぶやき.....



PhDリクルート室に入りづらい（静まり返っていて話しかけにくい）です。

仕事中は真剣なので険しい顔をしているかもしれません！遠慮なくお声がけください！皆さんの顔を見たら、当室一同ニコリ笑顔でご対応いたします😊（皆さんにお会いできるのはとても嬉しいです！）



企業就職かアカデミア就職か、進路選択を迷っています。

同じ悩みを持つ大学院生の皆さんは多くいます。当室のプログラムにぜひご参加ください！例えば、大学院生のためのキャリアセミナー（P.5）では、企業就職した先輩博士のお話を聞くことができます。また、PhDリクルートフォーラム（P.7）では企業の皆様と直接対談が可能です。ご自身がどの道に向いているのか、どの道に進みたいのか、当室の教員との面談を通してじっくりしっかり考えていきましょう。



就活をいつ始めればよいのでしょうか？

博士は就活時期に制限はございません！ぜひ早期から就活を始め、自分の思いの企業と巡り合ったときに、最高のパフォーマンスができるように訓練しておきましょう！そのために当室のプログラムをぜひご活用ください！



大学教員は企業のことを知らないのではないですか？

当室のメンター教員には某大手企業の人事部長、研究所長を経験しているつわものがあります！ご安心ください！企業の裏事情も聞けるかも…!?



友達がいません…泣

当室のイベントにご参加いただくことで、横の繋がり、縦の繋がりを作ることができますよ！実際に、2020年度のPhDリクルートフォーラム参加者は会をきっかけに院生会の立ち上げを進めたり、2021年度の参加者は反省会をきっかけに横の繋がりを深めたりしています。また、ご希望があれば新潟大学院生会のメンバーにお繋ぎすることも可能です◎



博士（後期）課程に進学するなら、もう親のお金を頼りたくありません…

博士対象の支援金制度が充実してきています！博士（後期）課程に進学するなら、ぜひ皆様自身の力で生計を立てて、研究成果もあげて、輝かしい将来に向けて走って行きましょう！例えば、博士の支援金制度（P.9）のフェロシップ支援事業では、生活費相当額15万円/月と研究費20万円/年を支給、次世代プロジェクトでは研究費40万円/年等、学内でも充実した支援を行っております。



お悩み相談、ただの雑談、  
いつでも大歓迎です！  
ぜひ当室にお越しくださいませ！



## ■ 授業科目

### 【前期課程:課程共通科目】

No.	科目名	内容	単位	Gコード開講番号
1	修士のためのキャリアマネジメントセミナー	キャリアマネジメントセミナー	2	220F5301

### 【後期課程:課程共通科目】

No.	科目名	内容	単位	Gコード開講番号
1	博士のためのキャリアマネジメントセミナー	キャリアマネジメントセミナー	2	220F5321
2	博士のキャリア開発の実践	PhDリクルートフォーラム	1	220F5322
		ジェネリックスキルセミナー		
		大学院生のためのキャリアセミナー		
		企業研究サイトビジット		
3	博士ジョブ型研究インターンシップ	インターンシップ(1ヶ月以上)	2	220F5323

※詳細はシラバスをご覧ください。

## ■ 2022年実施プログラム(予定)

○受講対象 ×受講対象外 △聴講可(単位取得不可)  
☆単位取得要件についてはシラバスを参照

プログラム名	BC	MC	DC	PD	単位
キャリアマネジメントセミナー	△	○	○	○	☆
ジェネリックスキルセミナー	△	○	○	○	☆
大学院生のためのキャリアセミナー	○	○	○	○	☆
PhDリクルートフォーラム	×	×	○	○	☆
企業研究サイトビジット	×	×	○	○	☆
博士ジョブ型研究インターンシップ	×	×	○	○	☆
博士ジョブ型研究インターンシップ体験報告会	○	○	○	○	

※日程等の詳細はホームページでご確認ください。 <https://www.phd.niigata-u.ac.jp/>

## スタッフ



PhDリクルート室長  
副学長・自然科学系教授

本田 明治



担当教員  
PhDリクルート室  
特任教授

樋口 直樹



担当教員  
PhDリクルート室  
特任助教

亀岡 雅紀



事務スタッフ  
PhDリクルート室

篠田 亜希子



協力教員  
自然科学系教授/  
大学院自然科学研究科  
副研究科長

飯島 淳彦



協力教員  
自然科学系教授/  
大学院自然科学研究科附属  
教育研究高度化センター

永井 直人

## アクセス



### ■ 列車利用(JR越後線)

新潟駅～内野駅(所要時間25分)下車 徒歩で約15分  
新潟駅～新潟大学前駅(所要時間22分)下車 徒歩で約20分

### ■ バス利用(新潟交通)

新潟駅～新潟大学西門(所要時間約45分)



## 連絡先

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050  
新潟大学大学院自然科学研究科管理・共通棟2階211号室  
TEL: 025-262-7217 (内線7217) FAX: 025-262-7217  
E-mail: phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp URL: www.phd.niigata-u.ac.jp

